

おでか 議会だより

第124号 2023.1.21



contents

新春のごあいさつ	2
堂々と！ 値中3年生が町長に質す（模擬議会）	3～
定例12月会議	6～
<u>町長！ 公約に対する自己評価は？</u>	8～
<u>町長！ センター解体撤去し 他の施設で機能の代用を！</u>	10
<u>町長！ 速やかに水産加工施設の活用方法の検討を！</u>	12～
町内のいろいろな工事等のようす	18～
こんな4年間でした（議会白書）	20～



謹賀
新年

朝日を浴びて小値賀港に入港する高速船シークイーン

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

うさは跳ねることから、景気が上向きに回復すると言われている。何もかも上向きに回復すれば何もかもうまくいくのになーと勝手に思っている。コロナ禍も小値賀町の諸問題も一気に解決の方向にと：

人口減少、後継者不足、漁業農業が栄えないと商工業も栄えないし、少子高齢化も止まらない。この先が良く見通せない現実を少しでも改善したいと思うのだが、本当に難しい。

しかし難しいとばかり言っているのも何一つ前に進まない。一つでも二つでもいいから難題を解決していく努力が必要だ。色々な問題をしっかりと精査して解決の糸口を探るのが議会の仕事でもあるし、町民の皆さんも、行政に関わる人も一緒にあって、あらゆる問題に取り組む姿勢が求められる。

島根県のある地域では「1パーセント運動」と言って、あらゆる事柄を1パーセント上向きにする運動に励んでいる。人口を1パーセント増やす。農漁業所得を1パーセント増やす。地域外での買い物も1パーセント減らす。などなど、とにかく小さな一歩をみんなで実践している。小さい一歩でも二千三百人が踏み出せば、かなり大きな一歩になる。

さあ、みんなで一歩、飛び跳ねよう！小値賀にはまだまだ沢山の宝が埋もれているのだから。

小値賀町議会 議長 横山弘藏



値中3年生模擬議会

～自分の将来と小値賀の未来を考える～

令和4年12月19日、小値賀中学校3年生が「中学生模擬議会」で一般質問に挑みました。
小値賀中学校では郷土小値賀について学んだことを基に、自分の将来と小値賀町の未来について真剣に深く前向きに考えていけるようキャリア教育を進めています。
1年生で学んだ小値賀学、2年生の職場体験学習、そして3年生で小値賀の未来について考えるその集大成の一つが、議場で執行部を前に一般質問を行う「模擬議会」です。
かなり緊張していたようですが、人生における貴重な体験になったことと思います。

問 新診療所の良いところと懸念されることは何か。

答 診療室が4室あり、混雑する専門外来の日でもスムーズな診察ができます。

医療機器も新しくなり、待合所も広くバリアフリーになっています。

診療所が新しくなっても島外の病院に行かざるを得ない場合もあり、負担になることは変わりません。

問 将来に向けて小中学生に診療所の栄養士や調理人の仕事の紹介をしてはどうか。

答 重要でやりがいのある仕事ですが、募集はしても難しいのが現状です。ぜひ検討したいと思います。

問 小値賀空港の航空路を再開して活気のある住みやすい町に。

答 機体の老朽化もあつて定期航空路の再開は難しいですが、ツアーなどの臨時便の検討をしていきます。

問 空港は規制があるようだが、広いスペースのある公園などでドローンの教習所を開設してはどうか。

答 空港では今まで無人機の実証実験などを行ってきました。
空港でドローンの教習所というのは、国が認めれば可能性はあると思います。

問 抽選で裁判員制度のように議員の体験をすれば政治に興味を持てるのでは。

答 (横山弘藏議長) 良い提案だと思っています。

まずは今行っている中学生模擬議会の大人バージョンができないか、役場とも協議したいと思います。



尼崎結菜議員
小辻太一郎議員
伊藤心紀議員





柴田愛莉議員
辻彩弥議員

問 高校生や町民がガイドになったら観光客との触れ合いも広がり町に活気が出るのではないかと。

答 アイランドツーリズム協会以外にも6名がガイドの会に登録しています。

町民がガイドとして観光客と触れ合うことは本町の観光事業にとっても重要な要素であり、これからはガイドの確保と育成の支援を行っていきます。

問 二次離島の自然や歴史に触れられる観光ができれば、次世代の大きな産業になって町の活性化にもつながるのではないかと。

答 キャンプ場や観光地として売り出すためには、安全の確保と水道やトイレの整備などが必要で、ばく大な費用もかかることから現時点では考えていません。

問 本町にはたくさんの自然があり、「何も無い所」が良いところだ。

これをウリにして観光客が自然を楽しむ**グランピング施設**を作っているかどうか。

答 グランピングは本町の自然を体験することが出来る魅力的な宿泊施設だと思います。

しかし宿泊施設は町ではなく民間が行うもので、要望が出てくれば支援は検討したいと思っています。



問 県の名産品やキャラクターとコラボした土産品を。

答 民間事業者がいろいろなお土産品の開発を行っており、いただいたご意見は民間事業者に伝え、町としてもサポートしていきたいと思っています。



井上かずさ議員
日高共絆議員

問 小値賀の自然を学べる学習施設をあわび館の中につくり、VR（仮想現実）を使って観光客が雨天時でも楽しめるようにしてはどうか。

答 あわび館の活用方法は今検討中で、VRは施設の適性や費用対効果を考えて検討します。

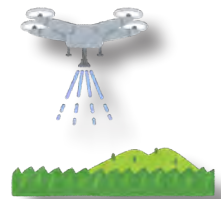
問 地元の人でも観光客も学べる小値賀の戦争の歴史を集めた施設をつくってはどうか。

答 戦争を風化させず二度と起こさないようにするための「学び」は必要です。

町内各地の遺構や戦争体験者のお話などをさまざまな学習の機会に提供していきたいと考えています。



議員 木村大和
議員 伊藤友紀



問 農業と漁業を行っている方々の高齢化が進んでいるが、農業と漁業の若手の研修生を増やす対策は。

答 農業では原則3年間、漁業では4年間の研修を受けることができます。

また国の漁船リース事業を活用して就業者の負担を減らしたり、新規就業後5年間に漁船の機器類が故障した場合の修繕料について補助するなどしています。

問 小値賀町の推すブランド品の農産物はあるのか。

答 本町に現時点でブランド化している農産品はありませんが、ブランド化によって農産品の価値が高くなり、収入アップや地域の活性化につながることは確かです。

しかしブランド化は色や形、大きさ、栽培方法など客観的な品質基準

が必要のため、現状では難しい状況にあります。

問 小値賀でスマート農業を進めていく考えはないか。

答 スマート農業と言っても最終的に人間がまだまだ判断しなければならぬ部分があり、また導入費用も高額です。

しかし農家の高齢化が進んでおり、少しでも長く農業経営に従事していただくためにも、情報収集を行いながら検討していきます。

問 ますます高齢化が進むがその対策は。

答 難しいことですが、後継者を育てることが基本だと考えています。

問 ごみの処理の方法と最終的にどのような形になるのか。

答 燃えるごみは収集した翌朝のフェリー太古で新上五島町の焼却場に運び焼却処理しています。

ガラスなどの燃えないごみは西目の最終処分場で埋立処分に、金属や小型家電、電池、蛍光灯は町外に出しています。

缶はアルミとスチールに分けて圧縮、びんは色で分けてそれぞれ町外へ搬出し、リサイクルされます。

ペットボトルや紙パック、プラスチック容器や新聞・雑誌・ダンボールなども町外に搬出し、専門業者によりリサイクルされています。

問 空き家バンク制度の現状は。

答 町の広報誌やホームページなどで情報提供し、地区会長会で呼びかけを行っています。家の中に荷物が

残っているなどの理由でなかなか登録には結びついていません。

空き家バンク登録物件を対象とした改修補助金制度の周知を一層図るとともに、有償ボランティアによる荷物の片付けも検討していきたいと考えています。

問 町民への周知のために地区ごとにハザードマップの看板を設置してはどうか。

答 わかりやすい看板を町内の主要な公共施設、新港ターミナルビル、町役場、小・中学校に3年以内に設置する予定です。

また年度内に各家庭へ小冊子の配布も予定しています。

問 その小冊子の内容は。

答 危険箇所がわかりやすいように工夫して作る予定です。



議員 角永佑太
議員 境久渡



定例12月会議



3議員が町長に質問

令和4年定例12月会議を12月5日から7日まで、3日間の日程で開催しました。

提出された議案は18件で、全議案とも可決成立しました。

傍聴者は実に51名も

会議の初日は通常は夜間議会ですが、定例12月会議は小値賀小学校6年生が傍聴するため、午前10時からスタートです。

小学生の他にも小値賀町公民館の高齢者学級「熟年大学」の方々も傍聴に訪れ、合わせて51名もの方に傍聴していただきました。

まず町長の行政報告があり、続いて3名の議員が西村町長の考えを質しました（8ページ）。

一般質問後の**模擬公聴会**※では2人の小学生から発言があり、町政への関心の高さと堂々と意見を述べる頼もしさを感じました。

小学生も模擬公聴会で堂々と発言



模擬公聴会で堂々と自分の考えを述べる2人の小学生

※模擬公聴会

本町議会では定例会議の一般質問の後、傍聴者が意見や質問をする機会を設けています。休憩中に行うため、発言は議事録には載りません。

すべて全会一致で

2日目は条例の改正が11件、廃止が1件、制定が1件あり、その他一般会計の補正予算、財産の取得2件を審議し、すべて可決成立しています。

最終日は5つの特別会計の補正予算と工事請負契約の締結について審議、活発な質疑を経てこの日もすべて全会一致で原案どおり可決成立しています。

一般会計補正予算

令和 4 年度一般会計予算

4252 万円減額 41 億 6018 万円に



消防署の建設予定地

主なやりとり

令和 4 年度で 5 回目となる今回の補正予算では、人件費の補正のほか新型コロナウイルス関連の補助金や子育て世帯への補助金、農業関係の災害復旧工事費などが計上されました。

間歳入の財政調整基金繰入金で 6209 万円もの減額の理由は。

答 各会計の実績が確定し、一般会計から繰り出す金額が大幅に減ったためです。

間 佐世保西消防署小値賀出張所の建設予定地の文化財

発掘調査費などが計上されているが。

答 出張所の経年劣化が進み、移転が必要になってくる。

移転先の土地は町が整備して佐世保市に引き渡すことになっているため、その有力候補地として考えている旧診療所の駐車場内の 3 か所を試掘するものだ。

間 建設予定地として決定したような説明であるが議会への報告はない。

答 あくまでも予定地であり、決まったわけではない。今後調査内容を踏まえて予定地を決めていきたい。

間 教育費の中で地域・教育魅力化プラットフォーム参画負担金（55 万円）が計上されているが内容は。

答 ふるさと留学のコーディネーターやハウスマスターの人材確保のために参画するものだ。



質疑する宮崎良保議員

間 雇用機会拡充事業の補助を受けて創業や事業拡大をした事業者に対する新型コロナウイルス関連の補助金 1875 万円が計上されている。対象事業者数は。

答 個人 17 件、法人 4 件。

間 この補助を受けていない一般の事業者との不公平感があるが。

答 確かに担当課内でもそのような議論はあったが、制度だから仕方がない。

商工会から特に要望も来ていないので町として判断した。

特別会計補正予算

渡船事業	50 万円減額	7230 万円に
国民健康保険事業	32 万円増額	4 億 8912 万円に
簡易水道事業	13 万円減額	8382 万円に
下水道事業	79 万円増額	1 億 8269 万円に
国民健康保険診療所	1584 万円減額	11 億 1686 万円に
		(万円以下四捨五入)



質疑する浦英明議員

一般質問

町長！

定例12月会議

「西村町長の1期目の自己評価と 2期目の出馬理由について」

公約に対する1期目の自己評価は？

コロナの影響もあるが 7割程度でできたと思います

松屋治郎議員

町長は就任時のあいさつ

で「町民あつての小値賀町」「町民主役の小値賀町」を町政運営の柱とし、これまでに以上に情報を公開し、公平・公正な町政運営に努め、「夢のある小値賀町」の実現に一生懸命頑張っていると述べた。

また施策として医師の2名体制、地場産業の振興対策、松枯れ対策、牛のセリ市場対策、情報公開については必ず実行すると述べた。

主役である町民の声をよくきいたか

問 主役である町民の声を良くきいたか。

答 西村久之町長

新型コロナウイルスの影響で各地区に出向いて直接町民の皆様の見聞をきくことは難しい状況でしたが、農業・漁業・商工観光・教育・保健医療福祉関係の会議等に出席し、それぞれの貴重なご意見をきくことができました。予算等の関係もあります。

松屋治郎議員



が、すぐにできるものについては9割程度でできたと感じています。

問 情報の公開は適切に行っているか。

答 町の広報誌やホームページなどで随時公開しており、実行できていると思います。

問 ホームページを見ることができない人もいます。

答 年に1回か2回、各世帯に個別に必要な情報を配布したいと思っています。

問 1期目の自己評価は。

答 公約したことについては7割程度でできたと思いますが、新型コロナウイルスの影響で各種のイベントや行事等ができず、町民の皆様が満足していただけな部分があったと感じています。

問 町長の思い描く夢のある小値賀町とその実現方法は。

答 私の思い描く小値賀町は、子供達からお年寄りまで生き生きと暮らし、農業・漁業・商工観光業が活気にあふれ、町民誰もが住んで良かったと思える町です。それを実現するためには、人口減少対策・後継者対策・教育環境の充実・保健医療福祉を充実させることがとても重要だと考えています。

問 将来の希望がある町づくりのため、小値賀の宝である子ども、無限の可能性のある子ども、将来性のある子どもを町全体で育て、磨き、光らせることにつながる施策の実行を。

答 子どもは本町の宝ばかりでなく、国の宝でもあり、世界の宝だと日ごろから考えています。

その子ども達を育てる施策づくりを大切にしていきたいと考えています。

出馬宣言にある各施策のポイントと優先課題

問2 期目の出馬宣言の中にある各施策のポイントと優先課題は。

① 教育の充実について

答 町づくりは人づくりから始まると常に考えており、最優先は教育の充実と子育て支援です。

コミュニティ・スクールなど地域の力を結集した取り組みを強化して、「小中高一貫教育」、「ふるさと留学生制度」および「北松西高校魅力化推進事業」の3つの柱を連動した「小値賀の教育」をさらに充実させていきます。

② 子育て支援について

答 充実した本町独自の子育て支援策を継続しつつ、新たなニーズに対応した取り組みを行っていきます。

③ 産業振興について

答 農業・漁業ともに新規就業後も地域の方と関わりながら経営ができる当町独自の仕組みと財政支援を継続していきます。

商工業では雇用機会拡充事業等を活用して創業・雇用の創出に取り組み、国が設置している「事業承継・引継ぎ支援センター」と連携し、後継者の確保にも引き続き注力していきます。



④ 医療体制の充実について

答 常勤医師の2名体制は大変重要なことです。

あらゆる方面に働きかけをしており、令和5年中には体制作りができると考えています。



教育の充実と子育て支援を最優先

⑤ 人口減少対策について

答 移住者向けの住宅整備や地域に溶け込むことができ、都市部の企業の誘致も積極的に進めていきます。

～質問を終えて～

町内のいたるところで働き手不足、人材不足が深刻化を増し、町の存続すら危ぶまれる状態にあります。並の努力ではこの難関は突破できません。

次をめざすのであれば現状を再確認し、町の存続・発展のため町政の長として器量（徳・情・気魂）をもって町民とともに取り組むことが求められる、との思いで質問しました。

「将来を見据えた離島開発総合センターのあり方について」

解体撤去して他の施設で機能の代用を

総合センターは必要 建替えの検討を進めます

老朽化したセンターは早く解体除却を

問 今田光弘議員

離島開発総合センター（築48年経過）は法定耐用年数を超え、壁のひび割れや鉄筋の爆裂など老朽化がかなり進んでいる。

周辺に代用できる施設がいろいろある以上、ばく大な経費をかけて大規模改修する必要はなく、早い時期に解体除却すべきではないか。

答 西村久之町長

総合センターの一つひとつの機能の代替となり得る施設は他にあることから大規模な改修は必要ないと考えています。

一方で、中央公民館としての場と大規模イベント会場としての機能を兼ね備えた「総合センター」が、人口密集地である笛吹地区にあることはとても価値があることだと思います。



今田光弘議員



安全確保を第一に

今後、人口規模や利用形態、立地条件や景観、財政状況などを考慮し、それに応じた施設として建て替えるよう検討を進めていきます。

町町の計画では令和7年度から使い方の検討を始めるがあるが、現状を見るとそれでは遅いのでは。

答 確かに危険箇所がかなりあると感じており、令和5年度中には何らかの結論を出したいと思っています。

「私にも言わせて」

傍聴した小学生からひと言

（模擬公聴会）

離島開発総合センターは私も含めて利用者がたくさんいるのでなくさないでほしい。



（答）西村町長

皆さんが利用しやすい施設になるよう改善していきたいと思っています。

町長！

「西目処分場の廃材の処理について」



山積みされている建設廃材

廃材の処分 工夫してスピードアップを

人員を増やし 島外搬出の検討も進めます

今田光弘議員

西目の処分場に建物の解体材が山積みになつてい

る。
この廃材には防腐剤やタールが含まれているものが多いために再利用は難しく、重機で廃材を細かく砕いて焼却場で焼却しているが、作業はあまりはかどっていないようだ。

【問】環境的にも景観的にも早急な対策を講じる必要があるが、作業時間の確保と作業員のモチベーションを維持するための対策は。

【答】現場を担当している職員は葬斎場業務も兼務しており、近年は通夜や改葬の増加により職員の負担も増しています。

【問】今後は人員を増やすことや特殊勤務手当の支給も検討していきたいと考えています。

【答】また、重機類の資格を持つ職員も在籍しており、最終処分場の作業についてもカバーできるよう調整していきたいと考えています。

【問】今よりパワーのある重機を導入して作業効率を高めようか。

【答】新年度に重機の新規購入を計画しています。

【問】焼却炉が使用できなくなった時は新上五島に搬出するのか。

【答】廃材の受け入れは困難とのことです。

【問】短期間に集中して廃材すべてを島外に搬出して焼却処分する事業はできないか。

【答】今後も老朽家屋の解体は増加していくことが予想されるため、島外搬出処分に該当する補助事業はありませんが検討を進めていきます。

【問】リサイクルを視野に入れた解体材の受け入れ方法の検討も必要ではないか。

【答】廃材の受入れ後の分類に大変苦慮しています。

【問】今後は廃材の再利用と資源化を意識した受け入れ方法と料金設定も含めて検討していきます。

～質問を終えて～

西目の処分場の先には町内でも屈指と言えるほどの美しい海が広がって見えます。

一方で手前に目をやると家屋を解体した廃材が山のように積まれており、とても残念な風景になっています。

いろいろな制約があるようですが、解決に向けて協力していきたいと思ひます。

「私にも言わせて」
傍聴した小学生からひと言

(模擬公聴会)

通学路に危険な場所が多くあるので早く直してほしい。

(西村町長)

個人の所有物なので難しいですが、安全が確保できるような作業を進めています。

「水産加工施設の存続について」

速やかに施設の活用方法の検討を

担い手公社の意向を尊重して進めます

いかにして従業員を確保するかが重要だ

末永一朗議員

水産加工施設は未利用・

低利用の魚を利用して、漁業者の所得向上と、雇用の創出につなげる計画で造られたが、今は十分に活用されていないと思われる。

施設のあり方を速やかに検討しないと、ただの建物になりかねない。

問 従業員の確保はどのように進めるのか。

答 島外からの雇用を確保するため、水産加工担当の地域おこし協力隊員を町ホームページや「ながさき移住ナビ」等を活用して募集しています。現在のところ採用には至っていません。担い手公社独自でも今年度中に「移住スカウトサービス」を活用し、情報発信をする予定だそうです。

また12月21日から22日に



末永一朗議員



加工場の内部 使われていない機器も

かけて、長崎県移住サポートセンターの担当者が来島し、担い手公社を含めた町内各事業者の求人情報の提供を行う予定です。

問 漁師をやめた人など、魚が扱える人が必要では。

答 担い手公社と協議しながら考えていきたいと思っています。

問 別の民間会社にこの事業を委託する考えはないか。

答 当該水産加工施設を含めるあわび館は、令和8年3月31日までの5年間、担い手公社を指定管理者としています。

指定管理者の募集で担い手公社以外の応募はなかったため、現時点で他の事業者への委託は考えていません。



離島開発総合センターで「熟年大学」の方々も傍聴

未利用・低利用の魚を利用した取り組みを

問 事業の内容の転換を見据えて、未利用・低利用の魚を利用した試食コーナーを設置できないか。

答 担い手公社の方針として、まずは町内の取引先に対して未利用・低利用の魚を利用した商品の製造・販売を優先する方針であり、試食については考えていないとのことでした。

町としては運営者の意向を尊重したいと考えていますが、未利用・低利用の魚に対する理解や親しみを持つていただけるように、ご提案のような取組みを考え、いく必要性は感じています。

問 加工施設にはいろいろな機械があるが活用できておらずもったいない。

答 活用方法を検討していきたいと思っています。

問 特定有人国境離島漁村支援交付金による支援は今年度が最終年度だが、担い手公社だけでなく、町全体で取り組む考えはないか。

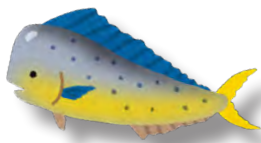
答 事業を継続するにあたってはいろいろな課題がありますが、取り扱う魚種や製造・販売する商品を絞り込むことで、自立運営が実現できる見込みも出てきているようです。

水産加工施設の設置目的を達成するため、担い手公社及び漁業関係者と連携し、町民にとって意義ある

施設となるよう努めていきたいと思っています。

令和3年度 水産加工場を利用した製造実績

品 名	製造実績	前年度数量
冷凍切り身	6493 切れ	7578 切れ
ヒラマサ 漬け 90 g	4989 袋	4769 袋
ヒラマサ ロイン	82.8kg	29.2kg
ヒラマサ カマ	56.6kg	—
シイラ ロイン	77.2kg	—



～質問を終えて～

加工施設にはそれなりの設備機器が配置されており、雇用さえ確保できれば前に進むことができると思います。

何としても雇用の確保を第一に考えてほしいと思います。

工事請負契約締結

大島分校体育館改修工事

入札方式：指名競争入札 (10 社)
 応札：6 社
 落札：株式会社友建設
 落札率：97.8%
 契約金額：9317 万円

※財産の取得

本町では予定価格 5000 万円以上の工事や製造の請負、予定価格 700 万円以上の不動産や動産の買入れや売払いには議会の議決が必要としています。

財産の取得

超音波画像診断装置

入札方式：一般競争入札
 応札：1 社
 落札：山下医科器械株式会社佐世保支社
 落札率：99.7%
 契約金額：869 万円

大型生ごみ処理機（トラッシュ）5 基

入札方式：一般競争入札
 応札：1 社
 落札：株式会社ヨロズヤ
 落札率：100.0%
 契約金額：854 万 2600 円

条例の改正

燃えるごみも燃えないごみも「指定有料ごみ袋制」に

廃棄物処理手数料に関する条例を改正、令和 5 年 4 月 1 日より燃えるごみも燃えないごみもそれぞれ指定有料ごみ袋制になります。

現行の人数に応じた月額制度はなくなり、下表の手数料のとおりとなります。

区 分	手 数 料		
燃えるごみおよび 燃えないごみ	指定有料ごみ袋	(大) 45 ℓ	40 円
		(中) 30 ℓ	30 円
		(小) 15 ℓ	20 円
西目最終処分場に車で 搬入する時の料金	軽トラック類	1 台	500 円
	1 トントラック類	1 台	1,000 円
	2 トントラック類	1 台	2,000 円
	4 トントラック類	1 台	4,000 円
	4 トントラック類を超えるもの	1 台	10,000 円



地方公務員法の改正を受け、役場職員の現行 60 歳の定年を 65 歳とする条例の改正を可決しました。
 なお令和 5 年 4 月から 2 年に 1 歳ずつ引き上げ、令和 13 年 4 月から 65 歳になります。
 これに伴って現行の再任用に関する条例は廃止となりました。

役場職員の定年は 65 歳に

本町の課題を国に直訴

※冗長化

設備やシステムの故障に備え、平常時から予備装置を用意したり運用すること。
現在はケーブルが1路線のため、万が一それが切れると通信が困難になる。



谷川弥一代議士



加藤竜祥代議士



西岡秀子代議士



古賀友一郎参議院議員

● 光ファイバーケーブルの**冗長化**※の実現と二次離島を含む全ての世帯で情報通信ネットワークの恩恵が受けられるよう財政及び技術的な支援制度に配慮を。
● オンライン診療・遠隔医療の整備推進及び技術的助言、機器整備への財政的支援を。
● 医師の地域偏在、診療科偏在を解消するための施策の推進および一定期間の医師不足地域への勤務義務付けなど具体的な医療提供体制制度の構築を。
● 航路運賃低廉化の離島島民以外への対象拡大を含めた支援事業の拡充と恒久法化も視野に入れた有人国境離島法の延長を。



山本啓介参議院議員



国土交通省離島振興課



総務省ブロードバンド整備推進室

去る12月13日から2泊3日の行程で長崎県選出の国会議員に会い、本町が有人国境離島であるがゆえに抱えている左記の大きな課題について直接要望してきました。
国会は閉会中のため会うことができなかった国会議員もいましたが、それぞれの秘書に要望書を手渡しました。
また谷川弥一代議士と北村誠吾代議士の紹介により、関連する総務省、国土交通省および厚生労働省の各担当者と直接要望活動や勉強会を行うことができ、課題の解決に向けて手応えを感じました。



常任委員会報告

新たな視点と再認識を本町の政策に活かします

～新上五島町に委員会合同視察研修～

総務文教厚生常任委員会

宮崎良保委員長



収集車2台をフェリー太古で輸送

ごみ焼却炉の現状把握と将来の方向性

小値賀町のゴミ焼却施設は既に耐用年数を超えており、毎年多額の修理費を投入してその維持に努めています。

しかしダイオキシンの発生を完全に止めることが困難になりつつある中で、私たちは町民の皆さんの利便性などを考慮して対応策を考えてきました。

新たに施設を建設すると約30億円かかるとの試算もあり、しかも県の広域化計画に反することから交付金が見つからない可能性もあります。

そこで当面の解決策として令和4年4月から、長崎県焼却ごみ処理広域化計画に則って新上五島町のごみ焼却施設に海上輸送することにしました。

新上五島広域クリーンセンター・ごみ焼却施設は平成14年12月に竣工、総事業は38億2100万円、年間1千トン程度の焼却能力があります。

しかし建設から既に20年経ち、10年後には更新時期を迎え、同程度の施設を建設すると約60億円の経費が必要となります。

本町と新上五島町との間で結んだ協定書では、令和16年3月31日まではこの施設を利用し、その後は新たに協議することとなっています。

利便性や今後の経費を考慮しながら、新上五島町の新たな焼却施設の建設に携わっていくのか町内に建設が必要なのか協議を進めます。



コントロールセンターで燃焼を常にチェック



小値賀町のごみもここで焼却しています

六次産業化の取り組みで町が活性化

まず六次産業化に積極的に取り組んでいる新魚目町漁業協同組合（水産物加工処理施設）を視察しました。

こちらでは自営の定置網漁業を主体とし、いろいろな魚種が水揚げされている中で特に「あご」（トビウオ）の好漁場で、古くから「あごだし」の加工製造販売を行っています。

全国各地から注文が入るとのこと、視察の時に加工していたものはすべて福岡県の大手出汁メーカーに送ることでした。



漁協の担当者から説明を受ける



薪を燃やす作業場

次に海塩や椿油などを製造加工販売している「矢堅目の塩本舗」を視察しました。

一切の添加物を加えずに海水中の塩類を結晶化させた「海水塩」を昔ながらの伝統製法を守って手間暇かけて作る塩はバリエーション豊かで人気も高く、製造に追われてなかなか休暇がとれないほどのことでした。

工場の中はともきれいに清掃されているのが印象的で、ボイラーは使わずすべて薪を燃やして作るというこだわりが人気の秘密のように感じました。



海に浮かんだ機能的な作業場

次に訪れたのは新上五島町でも西端の日島にある「有松園水産」。

ここは大型の定置網で獲れた魚を長崎魚市場に直接出荷するだけでなく、各地の飲食店などにも直送しています。

またコロナ禍により魚価が低迷したため、干物などの加工品の製造を増やして各地の物産展などにも積極的に参加して売上を確保しているそうです。

さらに皆の気持ちが沈んでいる中、自分たちにできることは何かと考えた末に思いついたのが「朝市」。

月に2回、朝9時から獲りたての魚を海に浮かぶ作業場で直接販売、購入者には500円でご飯を注文すれば刺身が食べ放題という特典がついています。

今では町内全域からたくさんの方が集まるようになり、人口26人の日島の集落にも活気が生まれたと話す松園文策社長の笑顔がとても印象的でした。

また事前に希望があれば定置網の作業をする船に乗ることもできるとのこと、小値賀でもこのような取り組みが必要だと強く感じた視察でした。



説明する松園社長（左から4人目）

町内のいろいろな工事等のようす



工事前 (2016 年 8 月)



復旧工事完了

野崎島ワイルドパーク野営場災害復旧工事

雨水による野崎島ワイルドパーク野営場 (野崎島自然学塾村) の陥没を復旧する工事 (県が発注) がようやく完了し、安全に利用できるようになりました。

請負：(株)興南商工
金額：6600 万円
工期：完了

移住者を受け入れる住宅 (笛吹在地区) 5 棟は 10 月に完成、入居も始まっています。
家賃は月額 2 万 5 千円から 3 万円。
入居期間は、町への転入日から数えて原則 1 月以上 3 年以内です。

請負：(株)友建設
金額：6067 万円
工期：完了



お試し居住施設



工事前



工事完了

町道唐見崎線防災工事

請負：(株)細川建設
金額：4046 万円
工期：完了

新診療所建設に伴う歩道の
の新設工事。

請負：(株)友建設
金額：1397 万円
工期：令和 4 年 12 月



診療所歩道改良工事

～日ごろから現地に出向き、状況の把握に努めています～

古民家ステイの鮑集と日月庵の老朽化した屋根の葺き替えと外壁の塗装工事を行います。

請負：(株)友建設
金額：1788 万円
工期：令和 5 年 2 月



古民家まつなが邸屋根替工事

前方漁港の唐見崎地区と近浦地区の老朽化した簡易浮栈橋の補修工事。
工事が追加されたため工期を延期。

請負：(株)元吉組
金額：3009 万円
工期：令和 5 年 1 月



簡易浮栈橋補修工事

柳福泊地区の防火水槽を地中に設置する工事。
敷地内のアスファルト舗装は 1 月中の予定。

請負：(有)出口建設
金額：1320 万円
工期：令和 5 年 1 月



防火水槽改良工事

その他の主な事業

旧小西邸保存修理工事実施設計業務	(株)都市環境研究所	597 万円	R5.3.17 完了予定
旧野首教会保存修理実施設計業務	(株)都市環境研究所	681 万円	R5.3.17 完了予定
大島分校体育館改修工事	(株)友建設	9317 万円	R5.3.24 完了予定
笛吹浄化センターばっ気装置更新工事	(株)九電工有川営業所	1342 万円	R5.3.31 完了予定
マンホールポンプ設備更新工事	(株)九電工有川営業所	673 万円	R5.3.31 完了予定
松くい虫被害木処理（衛生伐）業務委託	(有)出口建設	1001 万円	R5.3.20 完了予定

こんな4年間でした

(議会白書)

現在の小値賀町議会議員の任期は平成31年4月から令和5年4月までのあと約4か月。

平成28年7月に制定した「小値賀町議会基本条例」のもと、コロナ禍もあってなかなか思うように活動できなかった部分もありますが、この約4年間の活動をまとめてみました。

本会議

(日数)	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
本会議	11	20	20	17

全員協議会

(日数)	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全員協議会	15	15	10	16

常任委員会

(日数)	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総務文教厚生	8	5	6	5
産業建設	5	3	4	4
広報	9	15	12	16

特別委員会

(日数)	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
予算	3	0	2	2
決算	2	2	2	2

出前議会・フォーラムなど

(人)	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
参加人数	98	0	49	212

監査(議会選出監査委員＝浦英明議員)

内 容	延べ日数
例月現金出納検査	42
決算審査	36
基金運用状況調査	4
財政健全化法による監査	4

(令和元年5月～令和4年12月)

視察・研修会等(元号省略)

日 付	名 称	場 所	出席 人数
元年6月24日	県町村議会新議員研修	長崎	1
元年7月1日	県町村議会議員研修	長崎	8
元年8月7～9日	全国市町村議会議員研修	滋賀	1
元年8月27～28日	委員長研修	長崎	5
元年11月13～15日	沖縄県竹富町ほか視察研修	沖縄	5
元年11月17～20日	全国市町村議会議員研修	滋賀	1
元年11月19～20日	長崎県町村議会広報研修	長崎	4
2年1月27～28日	全国市町村議会議員特別セミナー	滋賀	1
2年10月20日	自治体議会特別セミナー	長崎	6
3年6月9日	委員会現地視察	町内	4
3年7月14日	集落対策研修	リモート	2
3年8月18日	集落対策研修	リモート	3
3年10月12日	委員会現地視察	町内	5
3年12月24日	委員会現地視察	町内	4
4年3月22日	全国町村議会議員研修	リモート	4
4年4月12日	自治体議会研究所特別セミナー	佐世保	7
4年8月9日	地方議員研究会特別セミナー	福岡	4
4年11月28～29日	常任委員会合同視察研修	新上五島	7
4年12月13～15日	国会議員要望・研修	東京	6

視察研修受け入れ

日 付	名 称
令和元年7月18日	佐賀県江北町議会
令和2年11月12日	川棚町議会
令和3年12月17日	佐世保市議会
令和4年10月21日	三重県四日市市議会
令和4年10月26日	五島市議会



五島市議会議員の視察研修のようす

(議長は除く)

議席番号	議員名	質問回数	質問項目数	《こんなテーマの質問をしました》
1	近藤隆二郎 (任期途中で辞職)	7	11	①診療所のコンセプトデザインについて ②自治基本条例の必要性について ③地域包括ケアシステムの現状とあり方について ④総合計画の策定について ⑤ひとり親家族の移住支援について ⑥地域が支え合う社会の実現について ⑦本町におけるオンライン診療の必要性和今後の見通しについて ⑧本町職員の働き方改革・ワークライフバランスについて ⑨看護師・保健師等の専門職人材確保と訪問看護サービスの必要性について ⑩ふるさと留学および小中高一貫教育の基本コンセプトの必要性和「四半農工漁X」について ⑪「町民が主役のまちづくり」と「小値賀町民の未来像」について
2	松屋治郎	4	4	①本町の地方創生（人口減少対策）について ②コロナ禍における社会構造変化への対応と施策について ③地域医療の要となる新診療所の開設運営に万全な対策を ④西村町長の1期目の自己評価と2期目の出馬理由について
3	宮崎良保	5	8	①国土強靱化地域計画の必要性について ②宇久小値賀家畜市場の統合について ③佐世保市・新上五島町との連携について ④歴史民俗資料館の改修について ⑤観光産業の整備について ⑥インフラ整備について ⑦資材高騰による農家の経営危機について ⑧公共道路の安全性について
4	黒崎政美	4	5	①ふるさと納税について ②生活困窮者への支援について ③大島分校改修事業について ④獣医師問題について ⑤診療所について
5	末永一郎	3	3	①第一次産業への支援について ②水産加工施設の今後の取組について ③水産加工施設の存続について
6	浦 英明	2	2	①公共施設等総合管理計画について ②新型コロナウイルス感染症患者の症状とその対応策について
7	今田光弘	12	16	①役場の嘱託・臨時職員の待遇について ②会計年度任用職員制について ③指定避難場所について ④北松西高校の修学旅行費用に対する町の助成について ⑤アワビ種苗センター及びあわび館の今後について ⑥避難所の台風対策の充実と町民の防災意識の向上について ⑦新型コロナウイルス感染症の対応について ⑧可燃ごみの島外搬出とごみの減量化について ⑨西村町長の選挙公約について ⑩新型コロナウイルス感染症に関して ⑪会計年度任用職員の給与について ⑫ごみ処理施設等について ⑬小値賀町ふるさと留学制度について ⑭若い移住者を増やすための子育て・教育環境の充実について ⑮将来を見据えた離島開発総合センターのあり方について ⑯西目処分場の廃材の処理について

一般会計補正予算

令和4年度一般会計予算

6635万円増額 42億271万円に

財産の取得

医事一体型電子カルテシステム一式

入札方法：一般競争入札

応札：2社

落札：東七株式会社

落札率：89.9%

契約金額：1012万円

11月会議では財産の取得と、非課税世帯への給付金、肥料価格高騰対策の補助金、「いま！おちかでつかう券」事業などを計上した一般会計補正予算第4号を審議、全会一致で可決成立しています。



議会モニター意見交換会

議会では、町民の皆さんの意見を議会活動に反映させるため、10名の「議会モニター」の方に議会活動をモニタリングしていただいています。

11月19日には「議会モニター意見交換会」を開催、貴重なご意見やご指摘をたくさんいただきました。これらを活かしながら議会活動に勤しみます。

貴重な意見や指摘をいただきました

議員のなり手不足について

○議員は大変そうないメージがあるからでは。

○町の全部の問題をチェックするのが大変そう。

○選挙がないと議員それぞれの考え方がわからない。

○任期中にその人が何をしたらか報告があれば相談に行きやすいのでは。

○議員としていろいろな言われてしまうのはイヤ。周りの人たちの議員に対する考え方を変える必要があるのかも。

○定数が多いと考える人が多いようだが、議員活動の量が増えて一人ひとりの負担が増えている。一生懸命しているのに負の要素が多い。

○議会があつて初めて行政があるはずなのに、議会を怖いと思っていない行政が不思議だ。

○ジェンダー平等の観点からも女性議員は必要。町民に働きかけを。

○家庭との両立が難しく、家庭が優先になる。

今の議会活動について

○議員は町民との距離を近づける努力をもっとすべきでは。

○町の問題はたくさんあるのに議員の一般質問の回数に偏りがある。

○町民が大型生ごみ処理機を利用して生ごみを減らす努力をしていることのアピールを。

○北松西高校の存続について、もっと危機感を持ってほしい。

突撃取材 シリーズ13回目

～小さな島の 小さな銭湯～

「薬湯 & サウナ ofuroba (おふろば)」の立石光助さん

起業や事業拡大などで雇用の場を増やす取り組みをする意欲がある人に、国・県・町が補助金を出す事業も6年目。町ににぎわいが戻ってきたような気がします。



右奥の扉がサウナの入口
浴槽の周りには赤土研究会で焼いたオリジナルタイルも



ロウリュで快適な時間を

本格的なサウナで身も心も整います

ふるさと留学の「ちかまる寮」の隣に、古民家を取り壊し、お風呂屋さんを誕生しました。その名も「おふろば」。

特にサウナはフィンランド式のロウリュ（サウナストーンに水をかけて立ち昇る蒸気を浴びる）が楽しめる本格的なサウナです。お風呂上がりには「やっぱり生ビール！」もありました。

偶然訪れた小値賀を「ここだ！」と感じて移住したのが令和元年5月。

なぜお風呂屋さんを

大きく4つの理由があったと立石さん。

① 大の温泉好き。
② 「ゆるいつながり」が生まれる公衆浴場が小値賀にはない。

③ 解体した家屋の廃材をお湯とサウナの熱源へと価値の変換できればと考えた。
④ 大阪のすでに廃業した銭湯のオーナーに当時の様子や思いを伺い、設備の一部を小値賀で活用させてほしいとお願いしたら、少し泣きながら嬉しそうに笑う彼の顔が後押ししてくれた。



どこか懐かしさを感じます

今は薪の確保から火起こし、掃除に接客、簡単な飲食の提供まですべて一人で行い、経営的にもギリギリのことですが、将来的には多くの方が気軽に利用できる大きな公衆浴場をめざしたいと話してくれました。

多くの人に定期的に入浴していただくことで、将来的には町の医療費負担の軽減につながるのではとも考え、今後も「健康」を軸に活動していきたいとのことでした。

入浴は完全予約制で、共同利用の場合の入浴料は1人800円、貸切の場合は2人だと4000円、4人だと5000円（島民以外は別料金）などとなっています。

（表紙の写真）

「すつてくろ広場」

「すつてくろ広場」は毎年恒例の小値賀町公民館主催おぢか山学校の餅つき大会です。

婦人会や育成会の方々にご指導いただきながら、もち米を蒸すところから餅をついて丸めるところまで子どもたちを中心に行います。

39回もの積み重ねがあることで、親から子へと小値賀の文化の継承に役立っていることでしょう。



小値賀町議会
Facebook



編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111



初日の出を迎えた斑漁港

編集後記

令和2年から世界中が新型コロナウイルス感染症に見舞われ、地球規模で人流・物流が停滞、人々の顔はマスクで覆われ、重苦しい長い長い日々が続いている。

この春には4年に一度の統一地方選挙がある。

前回の本町議会議員の選挙では定数8に対し立候補者も8名で、本町始まって以来の無投票当選となり、町民が議員を選ぶ機会を失うまったく不本意な選挙戦であった。

近年、過疎地の多くが議員のなり手不足に悩まされているが、本町議会では、多様な町民の多様な意見を反映させられるために多くの候補者が出てくれるようなさまざまな取り組みを行っている。

ふる里小値賀を自分たちの力で守り育てて、老若男女が明るく生き活きと暮らせる町、自立できる町として残したいとの想いを持つ人が一人でも多く立候補してくれることを祈りつつ希望の年を迎えたいと思います。

（編集委員長 松屋治郎）